

各 位

会社名 ヒラキ株式会社
 代表者名 代表取締役 向 畑 達 也
 (コード番号 3059 東証第二部)
 問合せ先 取締役経営戦略室長
 浅 野 雅 史
 (TEL 078-731-2322)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 8 日に公表した業績予想を下記のとおり修正をいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,480	百万円 220	百万円 160	百万円 60	12円22銭
今回発表予想(B)	12,199	368	272	76	15円51銭
増減額(B-A)	△281	148	112	16	—
増減率(%)	△2.3	67.3	70.0	26.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	12,472	216	159	59	11円86銭

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,600	百万円 420	百万円 340	百万円 110	22円40銭
今回発表予想(B)	24,400	700	550	200	40円73銭
増減額(B-A)	△200	280	210	90	—
増減率(%)	△0.8	66.7	61.8	81.8	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	24,503	412	332	104	21円16銭

2. 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,480	百万円 220	百万円 160	百万円 60	12円22銭
今回発表予想(B)	12,183	348	279	83	16円98銭
増減額(B-A)	△297	128	119	23	—
増減率(%)	△2.4	58.2	74.4	38.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	12,458	122	85	△31	△6円40銭

平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,600	百万円 420	百万円 340	百万円 110	22円40銭
今回発表予想(B)	24,400	700	550	200	40円73銭
増減額(B-A)	△200	280	210	90	—
増減率(%)	△0.8	66.7	61.8	81.8	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	24,481	389	265	360	72円73銭

3. 修正の理由

【連結】

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想について

個人消費が低迷し節約志向が高まる中、当社の2大事業である通信販売事業および店舗販売事業において、低価格戦略が功を奏し、前期第 2 四半期連結累計期間と同等の売上が確保できました。しかしながら、卸販売事業においては、取引先における販売低迷の影響を受けて売上が減少いたしました。その結果、同期間における売上予想を下回ることとなりました。

利益面では、徹底した効率改善を進めるとともに、本社移転による賃貸契約の解除等の固定費削減に努めた結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも予想を上回りました。

(2) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想について

通信販売事業および店舗販売事業については、引き続き消費者の低価格な生活必需品へのニーズが高まるものと思われ、前期と同等の売上確保が予想できますが、卸販売事業では引き続き苦戦するものと思われ、当初の売上予想を修正いたします。

利益面では、第 2 四半期連結累計期間と同じく、販売効率の改善向上に努め、利益が確保できる見込みであることから、当初の営業利益、経常利益および当期純利益の予想を上方修正いたします。

【個別】

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想および平成 22 年 3 月期通期個別業績予想とも、上記連結の要因と同様であります。

なお、前記実績(平成 21 年 3 月期)において、当社と連結子会社であるヒラキ不動産管理有限会社との合併により特別利益を 339 百万円計上しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

また、平成 21 年 2 月 24 日に開示いたしました「物件移転補償契約」に伴う特別利益および特別損失の発生が、現時点では未確定のため、業績予想数値に含めておりません。確定次第お知らせいたします。

以上